

## 平成29年3月定例会 提案説明要旨

### 1 はじめに

関西広域連合議会平成29年3月定例会の開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

関西広域連合は、平成22年12月の設立以来、設立6年を迎えました。「関西は一つ」であるとの理念のもと、次のステージに向けた第3期広域計画を策定し、新たな取組をスタートさせます。

議員の皆様には、関西広域連合、関西の発展のため、引き続きご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 2 第3期広域計画

まず、第3期広域計画による来年度からの3年間の取組方針です。

第3期広域計画では、広域連合が目指すべき関西の将来像の基本的な考え方として、「国土の双眼構造を実現し、分権型社会を先導する関西」「個性や強みを活かして、人の環流を生み出し、地域全体が発展する関西」「アジアのハブ機能を担う新首都・関西」の3つを掲げ、これらの将来像の実現に向け、関西広域連合はもとより、構成府県市においても、関西の再生を目指して取り組みます。

7つの広域事務については、これまで6年間の取組をさらに深化させ、積極的に取り組むとともに、分野を越える広域課題に対しても、各実施主体が連携を図り、積極的に対応していきます。

政策の企画調整等については、関西の共通利益の実現の観点から、引き続き琵琶湖・淀川流域対策や、「ワールドマスタースゲームズ2021関西」の開催支援に取り組むほか、新たに2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致などにも取り組みます。

分権型社会の実現に向けては、政府機関等の関西の移転に向けた構成団体の取組の支援をはじめ、国出先機関の地方移管や国の事務・権限の移譲も引き続き国に要請していきます。広域行政を担う責任主体としての広域連合の存在感の向上を図り、国の事務・権限の移譲の受け皿たり得ることを示していきます。

これらの実施にあたっては、関西地域の特色とも言うべき官民連携の枠組みを積極的に活用するほか、国との連携や、新たに外国・国際機関との連携に向け、取組を進めていきます。

### 3 提案説明（総括）

#### (1) 平成29年度当初予算（総括）

これより、提出した議案について説明します。

第1号議案「平成29年度関西広域連合一般会計予算の件」です。予算総額は20億9,089万円で、対前年比2億8,645万7千円、15.9%増となっています。

歳入は、構成府県市の負担金、ドクターヘリの運航や地方創生推進交付金事業に係る国庫支出金、資格試験・免許等の手数料収入です。

歳出については、広域防災など7分野の取組に要する経費のほか、地方分権改革の推進、広域的な流域対策の検討、広域行政のあり方検討、エネルギー政策、本部事務局の管理運営などに伴う経費です。

#### (2) 平成28年度補正予算

次に、第2号議案「平成28年度一般会計補正予算（第3号）の件」です。歳入歳出それぞれ2,742万9千円を増額し、歳入歳出予算の総額を19億1,182万2千円と定めるものです。各事業において節減に努めたところですが、主にドクターヘリの運航回数の増加により、全体として増額となりました。

#### (3) 条例改正

次に、第3号議案「関西広域連合資格試験等基金条例の一部を改正する条例制定の件」です。現在実施している試験等に加え、新たに取り組む試験の準備に必要となる経費の財源を確保するための整備を行うものです。

#### (4) 広域計画の変更

次に、第4号議案「関西広域連合広域計画変更の件」です。

3つの将来像の実現に向け、関西における広域行政の責任主体として関係主体間との連携・協働にも力を注ぎ、課題解決の先導的役割を果たすことなどを盛り込み、第3期広域計画を策定するものです。

#### (5) 分野別計画の変更（関西広域環境保全計画の変更）

次に、第5号議案「関西広域環境保全計画変更の件」です。

パリ協定の採択・発効や生物多様性保全の機運の高まりなど最新の情勢を踏まえ、より効果的・効率的な施策を盛り込むものです。

#### (6) 公平委員会の事務委託

次に、第6号議案及び第7号議案は、「関西広域連合公平委員会に係る事務委託の件」等2件です。

関西広域連合の公平委員会の事務については、2年ごとの持ち回りにより構成団体へ委託しているところです。平成29年度から鳥取県へ委託し、和歌山県への委託を廃止する議決を求めるものです。

## 4 提案説明（各分野）

### (1) 広域防災

続いて、各分野における取組を順次説明します。

まず、私から、広域防災分野を説明します。

東日本大震災や熊本地震における対応状況を踏まえ、被災者支援のあり方や関西広域連合の支援方法の検証、「被災者支援業務対応マニュアル」の作成等を通じて広域連合の応援・受援体制の充実強化を図ります。

また、「南海トラフ地震応急対応マニュアル」に対応した広域的な応援・受援、物資の調整にかかる実動訓練や図上訓練の実施、原子力災害時の広域避難に向けた受入れ訓練の実施を通じ、防災体制の実効性の向上を図ります。

さらに、今年度検討を進めている「防災庁（仮称）」について、わが国における防災・危機管理体制の充実強化や、防災から復興まで一連の災害対策を担う専門機関が必要との観点から、その創設に向け、シンポジウム等による情報発信を行います。

これらの事業を推進するため、広域防災費として、2,277万1千円を計上しています。

### (2) 広域スポーツ振興

広域スポーツ振興分野について説明します。

「関西広域スポーツ振興ビジョン」に掲げる各戦略に基づいて、本格的に事業の展開を図ります。

生涯スポーツ振興の取組として、子どもや子育て層のスポーツ参加機会の拡充に向けて、関西の総合型地域スポーツクラブの小学生を参加対象とするスポーツ交流大会などを開催するほか、中・高年を対象とした「関西シニアマスターズ大会（仮称）」の開催を支援します。

また、スポーツの聖地関西をめざす取組として、スポーツ人材育成のため、国際競技大会等で実績のある著名な指導者を招聘し、関西圏域内のスポーツ指導者に向けた講習会を開催します。

さらに、スポーツツーリズム推進の取組として、関西圏域内の競技大会やスポーツイベント、会場周辺の観光名所等を掲載したリーフレット

やホームページを作成し、関西のスポーツと観光の情報を一体的に発信します。

これらの事業を推進するため、広域スポーツ振興費として、879万8千円を計上しています。

### (3) 資格試験・免許等

次に資格試験・免許等分野です。

平成29年度も、着実かつ円滑な事務の実施を第一とします。平成29年度は、試験や免許証発行などの通常業務に加え、5年に一度の資格試験・免許統合システムの更新と新たに毒物劇物取扱者試験及び登録販売者試験について平成31年度からの実施を目指し、準備を進めます。

このため、資格試験・免許費として、1億3,930万5千円を計上しています。

### (4) 本部事務局

次に、政策の企画調整及び管理運営に関する事務について説明します。

#### (関西創生戦略の推進)

平成28年4月に策定した関西創生戦略については、第3期広域計画の策定とあわせ、集中的・緊急的に実施する施策及び事業を見直し、新たに都市との交流による農山漁村の活性化や再生可能エネルギー導入等の推進などの事業を追加するなど、地方創生の観点から広域計画に掲げる「広域連合が目指すべき関西の将来像」の実現を目指します。

#### (北陸新幹線の整備促進)

また、北陸新幹線の敦賀以西の整備については、平成28年12月に与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームにおいて、小浜京都ルートとすることが決定されました。この決定を受け、本年1月に、京都－新大阪間のルートを早急に決定することや、必要な財源を確保のうえ早期着工を図ることなどを、国土交通大臣等に申し入れたところですが、今後とも、一日も早い大阪までの開業に向けて取り組みます。

併せて、リニア中央新幹線についても、北陸新幹線と同様、大阪までの早期開業に向けた取組を継続します。

#### (政府機関等の地方移転)

広域連合では政府機関等対策P Tを設置し、関西への政府機関等の移転実現に向け広域連合として積極的に取り組むこととしており、今後、関西への移転を契機とした施策の深化、機運の醸成、国及び府県市が取り組む施策への協力体制の構築などについて検討を進め、広域連合とし

ても構成団体の取組を支援します。

#### **(地方分権型社会の実現)**

引き続き、国の出先機関の「丸ごと移管」をはじめ、国の事務・権限の移譲を求めていくとともに、広域行政を担う責任主体としての広域連合の役割や執行体制を含めた広域行政のあり方を検討していきます。

#### **(琵琶湖・淀川流域対策)**

琵琶湖・淀川流域の広域的な流域管理については、流域の諸課題のうち、広域的課題の解決策の検討に着手します。

#### **(エネルギー政策の検討)**

エネルギー政策については、水素供給システムの構想づくりに向けて、関西圏における取組状況や今後の水素アプリケーションの導入可能性、CO2削減効果など水素ポテンシャルの把握に取り組みます。

これらの事業のほか、本部事務局の管理運営経費を加えて、4億396万6千円を計上しています。

以上、私からの説明とします。

### **(5) 広域観光・文化振興**

広域観光・文化振興分野について説明します。

広域観光・文化振興分野では、昨年訪日外客数が約2,400万人を超え、関西もいよいよ外国人観光客1,000万人時代を迎える中で、2020年1,800万人を目指してさらに多くの外国人観光客に訪れていただけるよう、関西の魅力発信に戦略的に取り組みます。

まず、観光振興においては、オール関西での観光客誘致を強力に推進するため、広域連携DMOとして4月に設立する「関西観光本部」と一体となり、海外でのプロモーションの実施や美の伝説ルートへの誘客促進など、KANSAIブランドの海外に向けた売り込みを展開していきます。

KANSAI国際観光YEARの実施については、「KANSAI」の知名度向上を目指し、2017年は「関西の食を楽しむ観光」をテーマに、「'17食博覧会・大阪」とも連携し、関西の食文化を活かした観光の魅力を発信します。

海外観光プロモーションの実施については、ニュージーランドで開催されるワールドマスターズゲームズ大会への参加とあわせて、日本指向が強いオーストラリアでのトップセールスを実施します。

KANSAI Free Wi-Fi (Official) の推進については、一度の認証手続きで関西の自治体や民間事業者の無料Wi-Fiへ接続できるアプリの継続運用と利用促進を図っていきます。

以上の取組を推進するため、このあと説明がありますジオパーク関連予算を含め、広域観光振興として、8,368万6千円を計上しています。

次に、文化振興については、2020年東京オリンピック・パラリンピックやワールドマスタースゲームズ2021関西等に向けて、文化プログラムの具体的な活動を進めます。

また、アーティスト・イン・レジデンスをテーマとした国際シンポジウムや文化財観光をテーマにしたフォーラム、歴史文化遺産リーフレットの多言語対応などに引き続き取り組み、機運を盛り上げます。

さらに、はなやか関西・文化戦略会議からの提言を踏まえ、東京等でのフォーラム開催などにより、関西の文化・地域資源を活かした取組を広く全国に発信し、関西への誘客を促します。

このため、広域文化振興として、1,460万円を計上しています。

以上、広域観光・文化振興費として、合計9,828万6千円を計上しています。

## (6) ジオパークの推進

広域観光・文化振興分野におけるジオパークの推進について説明します。

ユネスコ世界ジオパークの山陰海岸ジオパーク及び日本ジオパークの南紀熊野ジオパークをはじめ関西にある貴重な地質遺産については、関西を巡るインバウンド観光の極めて魅力的な素材となるものであり、戦略的にアピールしていくことが重要です。

このため、新年度においても、世界ジオパークユネスコ正式事業化も含め、「KANSAI GEOLOGY ROUTE（地質の道）」として訪日外国人向け雑誌での情報発信や、ジオツーリズムなど外国人観光客の嗜好に合わせた誘客が求められています。

観光周遊ルートの確立、多言語での対応、海外トッププロモーションの実施など、強力に「地質の道」観光振興を展開します。

## (7) 広域産業振興

広域産業振興分野について説明します。

広域産業振興分野では、関西の持つ産業集積・インフラ、人材等のポテンシャルを生かして、関西全体の活性化と国際競争力を強化していくため、「関西広域産業ビジョン2011」に基づき、取組を進めていきます。

まず、主要事業として「『メディカル ジャパン』を活用した関西のポテンシャル発信・強化」を行います。

4回目となる医療総合展「メディカル ジャパン」に関西広域連合ブースを出展するほか、大学・研究機関と企業とのマッチングセミナー等を行うことで、関西の認知度・存在感を向上させるとともに、域内関連産業の振興を図ります。

次に、「世界の成長産業をリードするイノベーション創出環境・機能の強化」では、ものづくり企業の医療機器分野への参入に向けた相談事業や、グリーン分野における産学のマッチングフォーラムを実施することで、成長産業への企業の参入を促進します。

また、「高付加価値化による中堅・中小企業等の国際競争力の強化」では、新たな取組として「首都圏での販路開拓支援事業」を行います。また、公設試験研究機関の連携・情報の共同発信を引き続き実施します。

さらに、『関西ブランド』の確立による地域経済の戦略的活性化」では、国内外から資金や人材を呼び込み、関西に持続的な経済発展をもたらすため、新たな取組としてアジア地域において関西の優れた工業製品をPRする「海外産業プロモーション」を始めます。

最後に、「企業の競争力を支える高度人材の確保・育成」では、引き続き「高度産業人材に関する関西広域産学官連絡会議」を開催し、関係機関による情報や意見交換を行います。

これらの取組を推進するため、広域産業振興費として、4,118万2千円を計上しています。

## (8) 広域農林水産振興

広域産業振興分野のうち、広域農林水産振興分野について説明します。

広域農林水産振興分野では、「関西広域農林水産業ビジョン」に掲げる戦略に基づき、取組を進めているところです。

平成29年度の新たな取組で主なものは、戦略「地産地消運動の推進による域内消費拡大」に向けて実施する「2017食博覧会・大阪での産品PR」と戦略「都市との交流による農山漁村の活性化と多面的機能の保全」に向けた取組です。

「2017食博覧会・大阪での産品PR」については、構成府県市が出展するブースを「広域連合広場」として集め共通装飾を行うとともに、府県市ブースの産品購入者を対象にエリア内の特産品が当たる「おいしいKANSAI！応援キャンペーン」を実施します。

次に「都市との交流による農山漁村の活性化と多面的機能の保全」に向けた取組については、構成府県市の優良事例や域内の交流施設等の情

報をホームページで発信します。また、都市農村交流に関する知見を有する人材を「アドバイザー人材バンク」に登録・派遣するとともに、都市農村交流実践者も含めた情報交換会を開催します。

こうした取組等を推進するため、農林水産振興費として798万8千円を計上しています。

#### (9) 広域職員研修

広域職員研修分野について説明します。

構成団体の職員が“関西”という幅広い視野で広域課題に取り組む能力を身に付けるため、政策形成能力研修の継続実施や各構成団体が独自に開催する研修への相互参加を推進するとともに、インターネットの活用により研修事業の一層の効率化を図ります。

このため、広域職員研修費として、429万8千円を計上しています。

#### (10) 広域医療

広域医療分野について説明します。

まず、広域救急医療の取組の柱であるドクターヘリを活用した「広域救急医療体制の充実」についてです。

ドクターヘリについては、新たに平成29年度末には、「鳥取県ドクターヘリ」を導入し、連合がドクターヘリの一体的な運航を図ることにより、平時及び災害時の広域救急医療体制の拡充に取り組みます。

また、ドクターヘリ搭乗人材の育成について、基地病院と連携し、実践的な研修(OJT)による育成や新たに連合管内ドクターヘリ基地病院の搭乗医師や看護師が参加し、研究発表、情報交換などを行う「ドクターヘリ連絡会議(仮称)」を設置します。

次に、「災害時における広域医療体制の整備・充実」についてです。

大規模災害に備え、被災地の医療支援を「統括・調整」する「災害医療コーディネーター」について、引き続き、養成を図るとともに、合同研修会の開催により、「顔の見える関係づくり」を進めるなど、資質の向上に努めます。

また、広域的かつ実践的な「災害医療訓練」に参加するなど、災害対応力の強化に努めます。

次に、「新たな連携課題に対応した広域医療体制の構築」についてです。

「危険ドラッグ対策」や「周産期医療の連携体制の構築」などについて、担当者会や合同研修会を実施するなど、構成団体と一丸となって、取り組みます。



以上の取組を着実に推進するために、広域医療費として、13億1,639万5千円を計上しており、「関西2千万府民・県民」の皆様のための「安全・安心の医療圏“関西”」の実現に向け、しっかりと取り組みます。

## (11) 広域環境保全

広域環境保全分野について説明します。

広域環境保全分野では、①関西広域環境保全計画の推進、②再生可能エネルギーの拡大と低炭素社会づくりの推進、③自然共生型社会づくりの推進、④循環型社会づくりの推進、⑤環境人材育成の推進の5本柱で取組を進めます。

先ず「関西広域環境保全計画の推進」では、今年度、改定を進めてきました新しい関西広域環境保全計画の着実な推進を図ります。

「再生可能エネルギーの拡大と低炭素社会づくりの推進」では、ポータルサイトによる情報発信や、事業者等を対象とした研修会を通じ、太陽光発電だけでなくバイオマスや小水力など地域の未利用資源の利活用の促進、夏・冬のエコスタイルの呼びかけ、関西エコオフィス運動の展開などにより、一層の省エネの取組を促進します。

「自然共生型社会づくりの推進」では、関西各地で被害を及ぼしているカワウやニホンジカ、外来獣等への対策を引き続き推進するとともに、今年度公表した「関西の活かしたい自然エリア」を活用するためのフォーラムや研修会等を、新たに実施します。

「循環型社会づくりの推進」では、マイボトル運動などの3Rの推進に向けた啓発事業に加え、新たに、下水汚泥の広域的な利活用の調査・検討を実施します。

最後に、「環境人材育成の推進」では、地域特性を生かした交流型環境学習の第二弾として、ナショナルトラスト運動の先駆けである和歌山県天神崎における自然観察教室を、新たに実施します。

以上、5つの柱による事業を着実に推進するために広域環境保全費として、4,790万1千円を計上しています。